

NEW

あなたの手で、仔牛を守りませんか？

和牛用人工呼吸器キット

ニュージーランド製

農林水産省許可

改良点

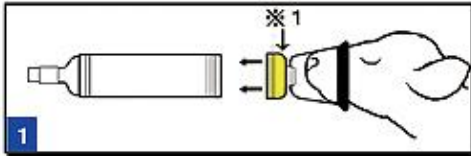
従来の呼吸器より、マスクの寸法及びポンプの容量が小さくなり、和牛に適したサイズとなっております。

製品構成

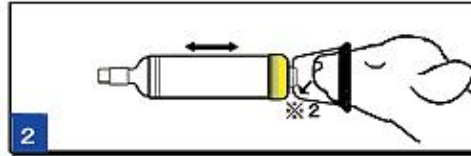
- 1) 呼吸器ポンプに吸排をコントロールするバルブがついており、吸排両方に対応できるようになっております。
- 2) 吸引マスクは気道に詰まった粘液を吸い取る役目をします。
- 3) 呼吸マスクは仔牛の肺に空気を適切に送り込む役目をします。

使用について

- 使用に際し、仔牛の頭を後方に傾け仔牛の気道を確保します。
- 呼吸器のポンプ操作はあなたの呼吸のペースに合わせて吸入間隔の操作（5～10秒間隔）をします。
- 通常、仔牛は2回から5回のポンプ操作で呼吸を始めます。
- ※5回のポンプ操作をしても仔牛の呼吸が停止したままの場合は、体をひっくり返します。
仔牛の片方の肺がもう一方の肺の上部に重なっている場合があります。また、仔牛を犬の様に座らせることが出来れば、両方の肺に同時に空気が送り込めます。



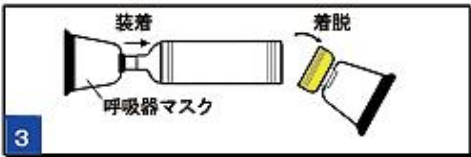
黄色のアダプターとマスク(※1)をポンプに装着し、鼻と口を覆います。



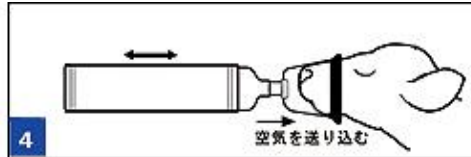
鼻と口が完全に覆われているか確認します。
粘液を取り除くため、ポンプを4～5回作動します。(※2:粘液排出)



吸引(1 2)時の本体



吸引器を取り外し、呼吸器マスクを取り付けます。



呼吸器マスクで鼻と口を完全に覆います。5～10秒間隔で、ポンプを作動します。
再度、仔牛を反対側に向け、ポンプを作動します。



蘇生(3 4)時の本体

使用上の注意

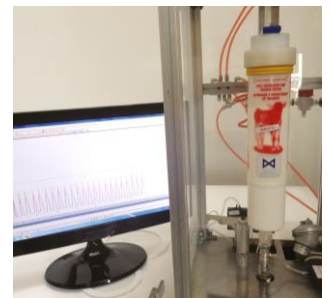
※胃に入り込む空気は外部圧でコントロール出来ます。気管を確保し、食道を圧迫してください。

取扱いについて

- 洗浄は家庭用洗剤を20倍に薄めたものか、搾乳施設で使っている洗剤で簡単にできます。
- ポンプで洗浄液を吸い上げてもバルブに悪影響はありません。
- 洗浄後は水を振り落とし、乾燥させてください。

品質保証

- ポンプは全て、1本1本最新のISO 10651-4（国際標準規格）を順守するためにテストし、出荷されています。
- 品質管理の規約の一部として、全ての製品のテスト結果を記録しております。



注) テスト風景

『仔牛は、肺の中に羊水が入った呼吸不全（低酸素血症）の状態生まれてくるために、出生後直ちに肺の中の羊水を排出して、肺の中に酸素を送り込む必要があります。この人工呼吸器セットは、肺の中の羊水排出と酸素供給の二つの機能を備えた、優れた製品であることが、私たちの研究で証明されています。
このキットを使用することによって、出生直後の仔牛の呼吸不全の事故を減らすことが期待できます。』

— 酪農学園大学獣医学部 小岩 政照 教授 —

輸入総代理店: **野澤組畜産部**

本社: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1(新国際ビル)

TEL: 03-3216-3476 FAX: 03-3216-3578

北海道: 〒080-0048 北海道帯広市18条北一丁目1-2

九州: 〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水2-10-7(光永ビル403)

TEL: 0155-67-5025 FAX: 0155-67-6207

TEL: 096-381-3914 FAX: 096-381-3841

動画もご覧下さい →

ホームページ: <http://www.totalapproach.co.jp/>

E-mail: livestock@nosawa.co.jp